

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-1-064

補助事業名 平成25年度 国内スポーツ競技力向上のための事業補助事業

補助事業者名 公益財団法人 日本体育協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本会は定款において、国民体育大会の開催やスポーツ少年団の育成に努めるほか、各種国民スポーツ振興事業を推進していく役割を担っており、主要事業をさらに効果的に展開して、生涯スポーツ社会の実現に向けた体制の構築を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 国民体育大会実施事業

全国9ブロックで実施した国民大会ブロック大会に対し、開催費の一部を助成した(参加者40,696名)。



バスケットボール競技の様子



国民体育大会ブロック大会
競技会場の表示

イ. ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防プログラム開発事業

平成22年度から24年度にかけて実施した本会の研究事業により、

1. ジュニア期の頭頸部重傷外傷（脳震盪含む）、
2. 足関節捻挫、
3. 高校生女子における膝前十字靭帯損傷

等が多発していることが明らかとなった。

これを踏まえ、本研究では、3年計画の1年次として、これらの外傷における予防プログラムの作成と効果検証を行った。

1) 作業・研究内容：

- ・重点競技種目での障害調査、障害予防トレーニングの介入、効果検証等

2) 実施期間：

・平成25年4月～平成26年3月



サッカー 測定風景



プロジェクト会議の様子

ウ. 運動・スポーツ遊びの実践を通じたメンタルヘルス・プロモーション研究事業

1) 作業・研究内容：

- ・社会心理的要因を強化する運動・スポーツ遊びの要素研究
- ・身体活動量や活動の種類等における従来型の運動との比較研究
- ・障害予防を目指した運動遊びの開発

2) 実施期間：

・平成25年5月～平成26年3月



調査風景（手つなぎ鬼の様子）



調査風景（運動遊びを楽しむ子どもたち）

2. 予想される事業実施効果

ア. 国民体育大会実施事業

国民体育大会ブロック大会を通じて、競技の水準を高めるとともに、少年から成人にいたる幅広い年齢層の競技者に対して、日々のスポーツ活動の成果を発揮する機会を提供できた。

イ. ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防プログラム開発事業

2年次以降において引き続き行う予防プログラムの効果検証、そしてプログラムの確立を経て、本会関係団体を通じてスポーツ指導の現場への普及啓発を図ることにより、学校体育における安全性の向上や、トップアスリートのための医科学的支援にもつながるものと考えられる。

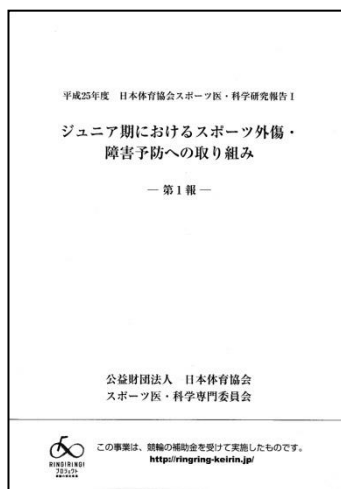
ウ. 運動・スポーツ遊びの実践を通じたメンタルヘルス・プロモーション研究事業

本研究を通じて開発される運動・スポーツ遊びプログラムにより、身体面の効果に加えて、子どもたちのメンタルヘルスや社会的スキル、集中力を強化し、自殺 やいじめなど、現在の子どもにおいて緊急に解決が必要な課題に影響を与え得る。

また、運動・スポーツ遊びにおける新しい魅力をスポーツ界の内部だけでなく 外部にもアピールすることが可能になる。

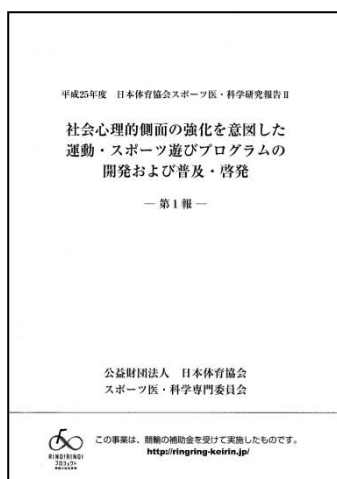
3. 本事業により作成した印刷物

イ. ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防プログラム開発事業
研究報告書 - 第1報 - 600部



ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防への
取り組み研究報告書-第1報-

ウ. 運動・スポーツ遊びの実践を通じたメンタルヘルス・プロモーション研究事業
研究報告書 - 第1報 - 500部



社会心理的側面の強化を意図した運動・スポーツ遊びプ
ログラムの開発および普及・啓発研究報告書-第1報-

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名 : 公益財団法人 日本体育協会 (ニホンタイイクキョウカイ)
住所 : 〒150-8050
東京都渋谷区神南1-1-1
代表者名 : 会長 張 富士夫 (チョウ フジオ)
担当部署 : 財務部財務会計課 (ザイムブザイムカイケイカ)
担当者名 : 関谷 卓也 (セキヤ タクヤ)
電話番号 : 03-3481-2207
F A X : 03-3481-2284
E-mail : sekiya-t@japan-sports.or.jp
U R L : <http://www.japan-sports.or.jp/>